

令和2年度 第1回飯島町総合教育会議 会議録

1 開催日時 令和2年12月4日(金)
開会 午前9時30分 閉会 午前10時58分

2 開催場所 飯島町役場 防災集会室

3 議 題

- (1) 教育関係予算について
- (2) 成人式について
- (3) その他

4 出席又は欠席した構成員氏名

出席構成員

町	長	下平	洋一
教 育	長	澤井	淳
同 職 務 代 理		上山	隆三
教 育 委 員		松崎	充恵
教 育 委 員		鈴木	富美
教 育 委 員		桃澤	宗夫

5 町・教育委員会事務局職員の職氏名

副 町 長	宮下	寛
総 務 課 長	久保田	浩克
企画政策課長	堀越	康寛
健康福祉課長	藤木	真由美
教 育 次 長	片桐	雅之
こども室長	森谷	大樹
学校給食係長	渡辺	仁信
子育て支援調整幹	北原	千穂
生涯学習係長	丸山	浩隆
生涯学習担当幹	蟹澤	京子

6 傍聴者 1名

7 議事の詳細 別紙のとおり

令和2年度 第1回飯島町総合教育会議

開 会

令和2年12月4日 午前9時30分

1. 開会

片桐教育次長

ただ今から第一回総合教育会議を始めます。

2. あいさつ

片桐教育次長
下平町長

はじめに町長よりご挨拶いただきます。

飯島町の総合教育会議と言うことで会議を持たせていただきました。日頃より皆様方には飯島町の教育行政、また、その他飯島町の行政運営につきましていろいろの観点からご指導ご意見をいただきましてありがとうございます。

教育行政につきましては飯島町も大きな事業がこのところバタバタとありまして、まず第一は学校給食センターですね、これがもう本格的に計画設計がされております。予算も大きな予算ですね、6億8000万円と言う事業は滅多になくて大きな事業です。これに対する国の補助金といいますか交付金が6千万なんですよね、そうすると6億2000万が身銭を切らないといけないと言うことです。ちびりちびりと貯めてきたお金があるんですけども、それにどつと手をつけないといけないと言う状況なんですけども、それをできるだけ減らしたいと言うことで今年はコロナ禍ではあったんですけども東京の政府の方へ足を何度か運ばせていただきました。6億2000万をいくらかでも減らそうと思ひまして、まあ最終的には文科省の藤原事務次官、ですから役人のトップですよ、事務次官にご縁をいただきましてお話をさせていただいて、今年の10月の補正予算に2億5000万の起債の裏を出すと言う事ですね、だから6億2000万を起債するとですね2億5000万円分の起債が償還される都度国から補助をもらえると言う事ですから起債をしなくていい、こうゆう感じなんですけども、まあ返済しなくても済むと言う感じなんですけども、これが2億5000万。これは教育次長はじめ役場の職員が東京へ自参して2億5000万というものを純利益で稼いできたとかいうことでございます。残りのお金についてはちびりちびりと段々にですね、不過なく返済していくということになるのかなと思ひます。これが今年の役場の大きな稼ぎでした、何もしなければ、あの補正予算はみんなが欲しい予算だった、飯島がすばつと持っていったもんですから、ある意味あちらこちらから恨まれております。しかし恨まれる位のことをしないとこっちが生き延びられないんです。これ競争だと思っております。しかしそうゆうお金があるという事ですね、動き次第でそれが取れるという事ですから役場の皆さんも自信を持って積極的に政府の方へお願いに行きたいなと思

っております。

そのついでに今後ですけれども飯島体育館の床を直さなければならない、その話でもですね、ついでに、ついでと言っちゃいけません、真剣にお話しした中でTOTOのお金がもらえるような感じになって参りました。決定ではありませんけれども、そういったことでそのお金が約8千万から1億かかる事業なんですね、そこでどれだけいただけるかなんですけれども、そういったことも目に見えない努力として、公表されない努力として役場がやっておるわけでございます。ご理解いただきたいなというふうに思っております。

後はギガスクール構想ですね、パットを導入するということで、全児童に持っていただくように予算を措置しました。これもいっきに飯島町、何回かに分けてやろうかと言っておりましたが、そんなものは早いほうがいいんじゃないのと、言うことでみんな一斉に持ってもらうって同じスタートを切ろうよ、ということにさせていただきました。しかしハードが揃ってもソフト、指導をどのようにしていくか、これが1番の問題でございまして、県もそのところ十分に認識しておりまして、今後ね、ギガスクール構想でもどのような指導、ソフトを充実していくかということについて課題になってくるのかなというふうに思っております。

そのようなことでコロナも発生しているいろいろ対応が大変だと思いますけれども、教育長さんも上伊那の教育長さんの联合会の中でいろいろ対策をとっていただいております、昨日何かの情報でテレビを見ておりましたら、小学校のコロナの予防対策として何が1番いいのかと、いろいろなものが出てきておまして、加湿しろだの、空気を清浄しろだの、いろいろ言ってるんですけども、何が1番大事なのかって言う事をお話ししておりました。その時にやはり飛沫感染を防ぐこと、マスクを必ずしてください、それと換気が大事だと、窓を開けて換気をするという事ですね、そういう事が、徹底、1番大事な部分で、あといろいろあっても、あったらいいねという範囲だそうです。専門家の方がマスクと換気を十分にすることで、都内の教室をその時に映像で映してましたけれども、エアコンをかけながら窓を開ける、今寒いんで部屋を温めながらも窓を開けて換気をする、夏だったらエアコンをかけて涼しい中でも風を通すと、これが1番だとゆうことで、これを実践している教室を見ました。そんなようなことで、ですね、対応それぞれあろうかと思いますが、いつ収まるかわからないコロナに対して十分な注意を払っていきたいと思いますので、今後とも皆様よろしく願いいたします。

今日は教育の関係でいろいろなお意見をいただくとしますのでよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(自己紹介)

片桐教育次長

ありがとうございました。はじめての会議でございますので次第にはございませんけれども自己紹介をさせていただいたと思います。よろしくお願いいたします。お手元の資料の二枚目に本日の出席者の名簿がございますので、合わせてご覧いただきたいと思ひます。それでは副町長さんからお願いいたします。

宮下副町長

町といことで副町長の宮下でございます。よろしくお願いいたします。

澤井教育長

教育長の澤井です。お願いします。

上山職務代理

教育長職務代理者の上山でございます。よろしくお願いいたします。

松崎委員

教育委員の松崎充恵です。よろしくお願いいたします。

鈴木委員

教育委員の鈴木富美です。よろしくお願いいたします。

桃澤委員

教育委員の桃澤です。よろしくお願いいたします。

久保田総務課長

お世話になります。総務課長の久保田浩克と申します。よろしくお願いいたします。

堀越企画政策課長

企画政策課長の堀越康寛と申します。よろしくお願いいたします。

藤木健康福祉課長

健康福祉課長の藤木真由美と申します。よろしくお願いいたします。

森谷こども室長

こども室長の森谷大樹です。よろしくお願いいたします。

渡辺学校給食係長

学校給食の係長の渡辺仁信と申します。よろしくお願いいたします。

北原子育て支援調整
幹

子育て支援調整幹の北原千穂と申します。よろしくお願いいたします。

丸山生涯学習係長

生涯学習係長の丸山です。よろしくお願いいたします。

蟹澤生涯学習担当幹

生涯学習担当幹の蟹澤京子です。よろしくお願いいたします。

片桐教育次長

教育次長の片桐です。よろしくお願いいたします。

3. 総合教育会議について

片桐教育次長

それでは早速進めさせていただきます。3の総合教育会議についてということでお手元の資料3-1と2にて説明をさせていただきます。

2ページをお願いします。1の総合教育会議には、でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律によりまして、この会議を設置するものでございます。この会議、2ですが目的でございます、町長と教育委員会が十分な意思疎通を図って飯島町の教育の課題や目指すべき姿を共有しまして、より一層教育行政を推進するために行うものでございます。(3)構成員ですが町長と教育委員会で構成をされております。(4)協議等の内容でございますが□といたしまして教育大綱の策定、□といたしまして教育に関する重点事項とな

ります。本日は特にここの部分の予算についてを、お願いするものでございます。③は児童の関係でございます。

1枚おめくりいただきまして、4ページをお願いいたします。資料3の2という事ですが、この会議の設置要綱でございます。後刻お目通しをいただけたらと思います、よろしくをお願いいたします。

それでは進めさせていただきます。4の協議事項をお願いいたします。なお、会議につきましては設置要綱によりまして町長が議長となるとされておりましてここからの進行につきましては町長さんの方でお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

4. 協議事項

(1) 教育関係予算について

それでは規定によりまして私が協議事項の議事を進行させていただきます。着座にてお願いします。それではですね、(1)番の教育関係予算について、でございます、事務局説明をお願いします。

議長。

どうぞ。

まず私の方で総括的に説明させていただきまして、あと係長の方から説明をさせていただきます。資料は4-1をお願いします。現在、6次総と言うことで総合計画を策定中でございます。その中の教育委員会としての目標でございます。子供の元気と学びの力で生き生き豊かな暮らしが6次総の中の教育部門の目標でございます。これを実践するように事業を行って参ります。過日も実施計画が査定が済みましたが、その中でも、この方針に沿った内容で計画を立てさせていただいているところでございます。それでは各係長の方から説明をさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

どうぞお願いします。

それではこども室の方から次年度以降計画をしております主だったとこの事業についてのご説明を申し上げます。

まず保育園関係、子育て支援センター関係になりますが、来年度以降からの問題になってきますところといたしましては、保育士等職員の確保、また、正規非正規含めての職員配置が大きな問題になってくるかと思っております。また、新しい動きとしましては、こちら資料の4-1、中ほど下段の事業コード5123の子ども支援費で計上しております病児病後児保育施設の設置支援の検討、合わせてファミリーサポートセンターの拡充を考えておりまして、事業を行っていきたいと考えております。保育園関係の方は以上となります。

下平町長

片桐教育次長

議長

片桐教育次長

議長

北原子育て支援調整

幹

議長

えっと皆さんどうですか。1項目ずつやっていきますか。全部まとめて説明をしちゃいますか。どうですか。忘れてしまいますかね。

一同

一括で大丈夫です。

森谷こども室長

学校の関係で説明させていただきます。資料の中ほどになりますが、5121の学校総務費になります。こちら ICT 支援員ということで先ほど町長の挨拶でもありましたギガスクール構想の今年度ハード的な支援が完了する予定でございます。その後、ソフト的な支援ということで、支援員の方を配置の方を予定させていただいております。こちら機器の設定から講師の補助ですね、また今後県の方でも ICT 関連の教育の方、研修が多く開催される場所ですが、教師の方は授業がありますので全員が参加するのが難しい状況となっております。大切なつなぎや引き継ぎを担っていただくように計画をさせていただくものでございます。

合わせて下のほうになりますが、小学校の管理費から1枚めくっていただきまして、七久保小学校、中学校の管理費になりますが、それぞれに ICT の整備ということで用意をさせていただいております。こちら主な内容と致しましては電子黒板をということで、今、今年度までで各学年1台程度の準備状況ではありますが、これが引き続き用意するというので、高価なものでありますので順次各教室1台用意できるように進めてられるように計画して参ります。以上です。

議長

どうぞ

渡辺学校給食係長

続きましてページ一番下の学校給食センターをお願いします。先ほど町長の申しましたように、一番の目玉と言うことで給食センターの建設を現在進めております。それと、児童生徒に安全安心な給食を届けるよう進めておるわけでございますが、給食センターの建設につきましては現在実施設計を終了に向けて進めておりますが、年内に実施設計を完了させて、1月に入りまして入札の準備を始める形で、年度内に契約まで持っていきたいと考えております。以降、繰越という形で来年度含めて建設工事を進めるということで、令和3年の12月の完成を目指したいと思っております。それから運営の方につきましては、現在調理員が8人という形でやっております、その方々が世代交代をしているということでありまして、新しい方が2人入った中で時間がちょっとかかり気味なんですけど、それが給食センターが新しくなることで、その部分慣れがうまくいかない部分もあるということもありますので、その辺も運営について考えていきたいと思っております。

それから後、給食センター車につきましては昭和58年導入ということで、今の給食センターと同じ30余年ということでありまして、先日もシャッターが壊れてしまいまして、一刻も早く変えた方がよいという状況になって参りま

した。その辺も含めて来年予算を盛りまして、来年は稼働に向けての検討準備ということでよろしく願いいたします。

議長

丸山生涯学習係長

はい、お願いします。

生涯学習の関係になります。3ページに予算が来年度以降の課題となるものが記載されております。※印をご覧になっていただくとお分りの通り、施設の改修の関係のことが多くなっています。特に社会教育施設、それと生涯学習スポーツ施設については30年から50年近く経っておりますので、そういったものの維持管理が大変な課題となっております。

合わせて時代が大分、ここ10年20年変わってきてまして社会教育や生涯スポーツをやるっていう町民の皆さんの意識が変わってきております。コンピューターとか通信とかの関係が変わってきた、それから働き方も変わってきた、長寿化、100年時代になってきてまして、そういう中で生涯学習、社会教育、スポーツ、どういう風に取り組んでいったらいいか、新しい時代を見据えて考え直していく必要があるかなというような課題にも取り組んでいかないと、と考えております。そんなことを実現する予算になっております。以上です。

片桐教育次長

議長

事務局からは以上でございます。

ただいま説明がありましたけれども、説明のあった部分についてご意見を聞きたいと思っております。お願いします。どうぞ。

上山職務代理

今までの説明の中でですね、要望したいという点についてお願いします。まずですね、今年はコロナ禍ということで、学校の関係、役場の関係の方いろいろご苦労されたかと思っております。特に最近また町内でもですね、感染者が出たと言う事ですが、これに対する対応ですね、割とタイムリーにですね、やっていただいたと思っております。1ついいですね、(チラシを提示)各戸にこうゆうものを配布をしていただいてですね、正しい知識と思いやりで感染拡大と差別を防ぎましょうと、非常に簡潔な言葉でズバリと真髓をついていただいたかと思っております。こういうのは非常にですね、よかったかなと思っております。

それから昨日のcekの番組のですね、町長さんの言葉ですね、感染拡大を気をつけてくださいとかですね、そういうことに対する点、良かったかと思っております。それから、究極ですね感染拡大してくると差別化とかですね、そういうことが多くなる、それから中傷、そういうことに対してですね、人権上の問題がございますので、それに対しては町長さん言っていたのは、皆さん思いやりを持ってやってくださいと、そうゆうですね、お互いの心を考えてという事ですね、言っていた、非常に良いことだと思います。

それで後はですね、これからはさらにゴートウトラベル、ゴートウイートでございますけれども、人々の交流は非常に多くなっております、少し前の飯島の道の駅、あそこに行きましたら、車がもう満杯でございます、土日はで

すね、それですから非常に人の交流が激しいと、ということであの車のナンバーを見ても県外の車がいっぱいでございますので、そういう面でも感染対策をこれからも対策の方をしっかりと、自己防衛もございますが、そのようにお願いします。

それから2点目といたしまして、先ほど町長さんも言われましたギガスクール構想ですね、ギガスクールタブレット生徒に1台というようなことをやっていただいたということなので、先ほどももちろん言われましたがICTの支援員をやっていただけるような形をですね、お願いできたらと思います。それからオンラインの施設がない生徒に対してですね、オンライン授業をやる場合にインターネットとかWi-Fiの環境がないとできませんので、休校とかそういうのを前提として、そういう環境を整えて欲しいなと思います。それから先ほど言われたけれども、それを補助する専門員というかですね、配置していただきたいと思います。それから先生の、なんていうんですかね、授業できるように研修の制度という事ですね、そういうのをやっていただきたいなと思います。

それからもう一つですけども、新給食センターが計画されておりました、進んでおるわけですけども、先ほども言われました通り、配送車38年経っております、非常にガタが来てるということでございますので、これからもそのぐらい使うとなると、充分機能がしっかりとした、備わった、そういったものをですね、新しい給食センターに配置してもらえたらと思います。そんなようなことですね、すばらしい給食の提供ができるように、配送は二校でしたが今度は三校になりますので、それだけ配送車の活躍する場が多くなりますので、その点よろしくお願ひしたいと思います。

議長

はい、ありがとうございました。ただいま4点のご指摘をいただきました。まず、コロナの町民に対する周知につきまして、発信元の総務課長がいますのでどうぞ。お褒めをいただきましたので。

久保田総務課長

土曜日の午後に県の方がプレスリリースしまして、その情報を町で受けまして、町としましてはホームページとか、いいちゃんメールとか、文字放送とか、それですぐに周知を、防災無線につきましては内容が内容ですので今回は控えさせて頂きました。その代わりに日曜日に急いでチラシを作りまして、今、代理さん言われました通り、自治会長さんにちょっとご無理を言って全戸配布をさせていただきました。中にはチラシを配って良かったねという反応も1、2にあります。町内の中で不安に思う方もまだまだいらっしゃいますので、町長にお願いしまして、有線テレビの方で流して、一緒にホームページでも動画が見れるように、ちょっと圧縮して見れるようにしまして、多くの方に、対策本部の本部長という立場で町長からメッセージを流させていただいて、今現在いるというところでございます。今現在のところ、他の2番目に発生したという

事はないですけども、県から発表は無いんですけども、そこから蔓延する事は無いのかなど、思っておりますけども。目に見えないものですので、いつ何時こういうことがまた発生するか分かりません。町としましては情報発信をして町民の皆さんに訴えていくことしかできませんので、そういった面で一生懸命やっていると、これは県からもそういった部分を町は頑張れと言われておりますので、お願いしたいなと思います。

もう一点は感染した方、また関係の方が、ご自分からちょっと相談したいんですけど、と言っただけののなら、うちの保健師や社会福祉士がお話を聞いて精神的な部分のケアを、そういうことをするように準備はするようにしております。ただ、これは我々から行くことができませんので、個人情報がありませんからどうにもなりません、本人から言っただけならば、ちょっと受け身のような形ですが、体制だけは整備しております。そういう今形でやっておりますのでご理解いただきたいと思います。

議長

次にゴートゥートラベルやイートが政府の政策で行われておりまして最近道の駅でも賑やかで心配だと、こういうお話がありました、これについて誰か。

久保田総務課長

自分のところでお答えします。確かに道の駅は行きますと代表おっしゃる通り、多くの県外のナンバーの車がありますし、変な話、夜もそこで泊まっている方もいらっしゃる状況は確認しております。1番ピリピリ緊張しているのは、それぞれの管理者でございます。田切は会社組織ですけども、七久保は組合なんですけど、両方ともほんとにピリピリして、従業員にうつたらどうしようとか、というふうに言っております。その中で、事業所としてできることをやると、ということでごんばっていただいておりますので、町としまして、そういったことで何かあればお手伝いすると言う立場でございますけども、先程言ったように、なかなかこれを止めると言うのは、なかなか難しい問題ですので、(感染者が)出ないように一生懸命努力する、うつらないように努力する、(感染者が)出たときの対応をしっかりする、で、蔓延させない、こういうことでちょっと対応を、事業所も町もやっておりますので、心配な面はありますけども、何とかそんな形で頑張っていきたいなと思いますのでよろしく申し上げます。

議長

続きまして、ギガスクール構想の中でICTの支援員とか専門員とか、先生の研修と、そういった環境を整えてくれと言うことでございます。

森谷こども室長

ギガスクールICT支援員ということで、今の検討段階になりますが、人的に会計年度任用職員で良い人がいないか、本当に人がいただければ、その人に担っていただくことになりますが、なかなか難しい面もありますので、業者に委託ということも検討しております。今そういうことで、手を上げていただいている業者さんもいらっしゃいまして、他の市町村でも実績があつて、そう

いった勘所というところを掴んでいただいているという話も伺っておりますので、もう少し研究をしてですね、現場の方の混乱がないように、なるべくスムーズに行くようにですね、また導入の方を検討したいと考えております。それによってご質問のオンライン授業の準備ですとか、補助員の問題ですね、授業の研修、それぞれこういったところがプラスにいくように、いくんじゃないかと思っておりますので、今後また進めていきたいと思っております。

議長

はい、それでは四つ目ですけども、給食センターが新しくなるんだけども配送車が古くなっているんじゃないかというゆうことです。

渡辺学校給食係長

配送車の関係につきましては、来年度の予算に向けて実施計画に上げておるんですが、現在のところ、満額（予算が）ついていないという状況でございます。予算に向け、続けて（予算を）つけていただくよう努力していきたいと思っております。

議長

今、4つの問題について答えがありましたけれども、それについて何かご意見ありますか。よろしいですか。はいどうぞ。

鈴木委員

ICTの補助員の関係なんです、機器を整備したり、講師を整備、用意していただいて指導をしていくっていうことはとてもいいことなんですけども、本来何を教えたらいいのかって言うことを、軸をしっかりしてやってもらいたいなと感じました。いくらハードを良くしても、いい先生を用意しても、子供の中に教えなければいけない、ここは教えなければならぬと言うところがずれていると、結局、中に何も入ってなくてそのまま行ってしまふ。ちょっと怖いかなと思っておりますので、意識統一を、やはり業者に頼むにしろ、やっぱり、先生も一緒に含めて、こうするならこの機器を使う、こうするからこういう授業をするんだよ、っていうことを、軸をしっかりして進めていって欲しいと思っております。

森谷こども室長

ご心配ありがとうございます。おっしゃるとおりで、今懸念されていることがICT機器を使えば授業がわかりやすくなるので、生徒たちが納得して、先生たちが納得してスムーズに進むことを想定しております。ただ、わかりやすいのでスムーズに進むのですが、テストをやってみると理解度が低くてですね、そこが折が悪いという心配がいろんなところから出ています。そういった事柄の状況も想定されておりますので、それぞれ研究機関等で引き続き研究してもらって、先生たちも今悩みながらやってるところです。問題を共有しながらそういったことにならないように進めていきたいと考えております。

議長

他によろしいですかね。

桃澤委員

ちょっとしたアイデアなんです、配送車、別立てで予算請求を今されているんですね。給食の配送設備として位置づけて、工事発注の中に入れて予算の中で一体的にできないものかと、どうでしょうかと、検討してみたいか

渡辺学校給食係長
桃澤委員
渡辺学校給食係長
議長
松崎委員

議長
北原子育て支援調整
幹

松崎委員

がでしょうか。

車については工事の中には入れることができない。

設備として位置づけられないか。

できない。申し訳ございません。

松崎さんいかがですかね。

5123子ども援費の中で幼児病児保育設置支援の検討どのようなお考えになっているのかと、ファミリーサポートセンターの部分、受け入れとかについてお聞きをしたい。

はい、お願いします。

病児病後児保育施設の設置支援の検討ですが、まだ現段階では検討ということで、まだ町内のお医者さんの方でぜひやりたい方がいらっしゃると思いますので、そちらについてはこちらでバックアップというか、どういったものにしたらいいか検討している段階で、まだ最終決定には至っておりませんが、町で更なる支援が何かできないかなと、町の方としても、子育て支援というか、何かできないかなということで、今検討をしています。

ファミリーサポートセンターにつきまして、事業として、今実際にやってはいるんですが、協力してくださっている会員が非常に少ないので、それを少しでも困っているお母さんを助けられるように、支援員養成講座を実施しております。また来年も継続的にやって養成講座ももちろんですけども、周知の方もしていて、ファミリーサポートセンター使い易いんだよってということと、じゃあ私もやってみようかな、という形で相互に協力できる体制をもっともって拡充していきたいというのが、この先の目標としてやっていきたいと思っております。今年はずっとコロナの関係もありまして、講座の方がなかなか、何回か講演をしないといけない中で、できないということもあるんですけども、来年度以降も工夫をして、やってきたいというふうに考えております。

ファミリーサポートセンターの受入れる人を、そこをもうちょっと、知らせたいなって、というようなことがあるんですけど、毎年毎年、子供が育って（時間が）空いている、あと定年になってご夫婦とも、ちょっと時間の余裕ができた、そういう人がまた増えているので、そこら辺の周知をされたらどうかと思います。今週も、宮田も、以前参考にさせてもらったら、結構連続してやらないといけないのがあって、ちょっとそれって連続とかでない、気持ちもあるし、時間もあるんだけど、講習を何回かこなさないといけない、お互いの信頼度もあるんですが、もう少しハードルを下げさせていただけると、支援を応援の方が広がるんじゃないのかなあと。責任というのがあるので、講習の内容とか難しいと思うんですけども、もうちょっと手を差し伸べたいという人の気持ちを考えて、協力者を募る方法を考えていただきたいなと思っております。

議長

北原子育て支援調整
幹

はいどうぞ。

講習の方に関しては、実はファミリーサポートセンターの全国的に展開しているところ、協会がありまして、そちらのほうに則って、これだけの講習をという話を、実はあるんですが、その中でやりくりをしている事はあるんですが、おっしゃる通り連続的には参加が厳しいという方がいらっしゃるの事実ですので、うまく、いかに参加しやすいというのは今後の検討になってくるかと、大事な意見としてこちらのほうも検討をさせていただきます。定年で時間あるよと、という方と、産休復帰まではしないと、この間だけならって、いう方もいらっしゃいますので、そういう方も来ることができるような検討していきたいと思います。

松崎委員

議長

ありがとうございました。

ただいま病児病後児とファミサポについて関連で何かございましたらお願いいたします。よろしいですかね。それでは鈴木さん。

鈴木委員

はい。中学校の部活について、国の方から部活のシステムが変わる話があって、また学校の方でも考えて下さっていると思います。社会体育の方に手伝ってもらって、部活を維持する場合、例えばそういうシステムになった場合の指導員の報酬を、国が面倒をみる、県が面倒をみるシステムがありますが、期限付きで、料金も決まっているんですけども、もうちょっと町も少し協力をして期限をどうするだとか、中学校の部活ってゆうと中途半端な時間から始めないといけないので、そのやってくださる指導員の方が見つかったとしても、結構、短時間で中途半端な時間に来なければいけない、そういった方々にやっぱり、「お願いします」って言うのを、保護者もですけど、町としても何か協力していただければなと思います。

それと、別なのもかもしれないですけども、小学校で教えているもの(教科)に関して、中学校に上がった時に、学力の引継ぎがうまくいってない部分があるのではないかなと思っています。小学校で教えなければいけないことがきちんと入ってないので、中学校でのつまづきが、ちょっと目立つ気がします。そここのところのサポート、小学校から中学校へ上がるころのサポートと、中学校でつまづいた時のサポートをもう少し手厚く、不断的にやってあげないと、オンラインもしくはIT機器が入って、教育を映像で分かりやすく出来たとしても、結局、(生徒児童の)中に入って来れないので、学力としては追いついていかないのかなというのがすごく懸念しています。そこを一緒に合わせて具体的に頑張って頂かないと、(今後) ちょっと難しいのかなという気がしました。なので、そこをどうゆうサポートが必要なのか、学校の先生と一緒に協力して、必要なものがあれば、必要なものというか、たぶん手は足りないと思うので、その手の足りないところをどういうふう補助していかないといけない

かを一緒に考えてもらえればなと思います。そこが一点です。

それから、生涯学習で陣屋や陣嶺館を、小学校の授業の方で、社会見学があると回ってもらうんですけど、先生に紐付いているところがあります。必ずこの時期（学年）には（陣屋や陣嶺館へ）行くんだよってという仕組みを、先生に紐付かず学校に、学校の教育の中に、飯島町にせっかくある施設なので、こういうことを積極的にやってもらえたらなと思います。今、与田切の自然と一緒に学ぶということを考えていただいていると思うんですけども、それも合わせて組み込んで欲しいです。せっかく飯島町に良いものがあるので、それを先生に紐付けるではなくて、やっぱりその学校の中で、この飯島町、飯島小学校、七久保小学校っていうと、必ず学べるんだよっていうことを組み込んでいくシステムを作ってもらえたらなと思います。せっかくある施設なのでもったいないなと気がします。

それと、最後に 5722 の屋外運動場のとこの防災トイレ、これは説明がなかったんですけども、その説明をお願いします。

議長

はい、ありがとうございました。四点のご意見を頂きました。まずは中学校の部活についてで、その指導員の件でございます。お答えは。

丸山生涯学習係長

部活は学校の教育活動の中でやっている部分になりますが、令和5年を目安に県では、土日は完全に部活じゃない、学校の先生が顧問としてやっている活動でない、ということに移行すると方針が出ていますので、それで令和5年を目指して、先日の中学校のスポーツ文化活動の運営委員会の中で校長先生お示しになっていましたけども、令和5年にそれがスタートできるように、今、中学校としては今年度で学校の部活の皆さんに案をもんでもらって、令和3年度には学校外の皆さんにもその案を見ていただいて、学校外というと、社会体育のクラブの皆さん方にも、その中学校としても案をみてもらって、令和4年のうちには方針も固めて令和5年度スタートっていうことをおっしゃってます。そういう風に進むことを期待してますが、その中で、おっしゃった、指導員が指導をしても、現状は社会体育もそうですが、ほとんどボランティアで善意でやっていただいておりますのが現状です。それをどう社会体育、部活でなくて学校の先生が教えるのではなくて、地域の方が教えるっていうことになった時に、まず、そういう方がいるかどうか問題なんですけども、いる場合にしても、参加している皆さんが会費を出し合って運営していくっていうのが、どこもそうなのかなと思います。ひとつ今の制度の中で部活指導員っていう、部活を教える講師を頼める場合には補助があって、月いくらっていうのが出るようになると思うんですが、そうでない、まるっきり社会体育としての指導者の報酬を町で出してるっていう例は聞かないので、難しいんですが、ただスポーツを振興していく、スポーツだけでなく吹奏楽とかもですね、そんなことを含めて

進めていこうとするときには、やっぱりひとつの考え方として何か検討が必要かなと気がします。よく、大きい市町村では、NPOの総合型スポーツクラブが受け皿になって、NPOの中からコーチのお金が出る仕組みにできると思いますが、飯島町ではちょっとその規模は難しいかなって気がします。検討課題ということで捉えさせていただきます。

議長

はい。続かましているですか。小学校から中学校への学生さんが移るときに、学力の継続性について心配だということでございます。これちょっと専門的になりますけども先生。

澤井教育長

はい、2つ目と3つ目の与田切プロジェクトと言われるものと合わせてですが、小中学校の学力低下は最近特に課題となっています。で、これをどうしていくかってことですが、先生たちがやるとしたら補習っていう形になるんですけども、なかなかその時間も、部活もあったりして、できないということです。やるとすれば今やっている未来塾を、どううまく活用していくかっていう事ですが、今の中学校の授業と未来塾が直接リンクしていないということがあるので、来年はそこを、中学校の先生と未来塾の担当者の連携を強くして行って、場合によっては、今実習形の未来塾ですけども、例えば、中学校の先生は、ここは授業や補習で、できないから、ここを未来塾でやってくれないかというような連携が取れるようになれば、未来塾の中で、この単元もうちょっとだっという子供たちが積極的に出てもらった形の展開を想定しています。来年度からそうできればという計画は持っています。

2つ目の与田切学習、郷土愛を含めたキャリア教育なんですけど、今年も指導主事がしっかり作ってくれたんですけども、コロナで遠足や修学旅行がみんな10月、11月に寄って来ちゃったもんですから、10月、11月にやろうと言ったことがもう日程も取れなくて、これで寒くなっちゃったもんですから、なかなか与田切に行けないということがあって、今年できなかった分、それは、来年はもう少し、春の段階で、いつにどこどこへ行くと、飯小と七小の子供たちは、ほぼ同じような、治水とか井水の開拓だとか、自然開発だとか、そういうことも含めてできるようにということで、一応モデル案はしっかりあるんですけども、やはり今年行けなかったもんですから、来年は年度当初からそれを組み込んで、今年のような休業はないと思いますので、春から秋にかけて計画的にやりたいなと思っています。

議長

澤井教育長

文化施設については。

文化施設については、大体1年生2年生が陣屋を使うっていうのはあるんですけど、それもしっかり計画して、郷土理解っていう中に位置付けて、毎年どの先生が来ても、これとこれとこれは勉強しようっていう形にまとめていければいいかなと思います。後の防災トイレも含めて丸山さんどうでしょうか。

丸山生涯学習係長

陣屋、陣嶺館、学年によっては、先生によっては、その学年で使わなかった、見学しなかったことがたまにやっぱりあるんですけど、忙しいかったかなと感じる時もあるんですけど、ぜひ使っていただけるようにこちらからはお願いするしかないんで、ご理解いただいて、特に鈴木委員さん、クラス、学級レクとかで保護者の立場で陣屋に泊まっていたり、歴史体験をしていただいたり、されたこともありますけど、これを全部のところでやらないにしろ、ある程度活用していただくようにこちらからもお願いしていきたいと思います。

それから災害トイレっていうことですが、資料の中には、具体的には飯島小学校、中学校、飯島体育館、あの辺が1つ防災、もし災害が起きたときに避難所になったりして、人が大勢来る場所になりそうだと思いますので、この辺に防災トイレを、防災型のトイレがあつたらいいんじゃないかと、いうお話が前々からありました。それと合わせて、現状、飯島小学校の外トイレ、グラウンドにあるトイレ、それと中学校の外トイレについても老朽化が進んでいるもんですから、それを合わせた形で、あの一角にできればいいなという、そういう構想です。具体的には財源ですとか、それから場所ですとかってところで詰めていかないといけない課題がありますが、そういったものをぜひあそこにまとめて置きたいという考えがあります。以上です。

議長

今説明が行われましたけども、今鈴木さんの四点ご指摘で、関連で何かございましたらご意見をいただきたいと思います。よろしいですか。それではお待ちせしました桃澤さん。

桃澤委員

私事の話も含めてなんですけども、実はコロナの影響でインドネシアに赴任していた私の息子の子供たち、孫がですね4人3月の末に転がり込んできて、難民状態になってですね、とりあえず向こうのジャカルタの、ちょっと長くなってしまいますけど、ジャカルタの学校っていうのは、日本人学校っていうのがありましてね、幼稚園から小学校、中学校まで一緒になったスクールなんですけど、70台分の大型バスの通学バスが用意されてて、ちょっとした結構でかい学校が外務省と文科省のテコ入れて、できてましてね。そこに1時間ほどかけてジャカルタ周辺の日本人の子供たち、先生は日本国から派遣されると、仕組みになっています。そこに行って7ヶ月、父親の赴任で大喜びして行っただけなんですけど7ヶ月位でコロナになっちゃって、やむを得ず向こうを出国命令がでて、帰って来ちゃったんですが、仮住まいみたいな格好で、飯島小学校、中学校にお世話になって、かわいそうだなと思って見ててなんですけど、そこで、まだ分析というか、まだちょっと考えがまとまってないんですけど、飯島の町に4人とも溶け込んでしまっていて、飯島の受容力ってゆうか、そうゆう、その心に不安とか、友達と別れないといかんとか、新しい友達を作らないといけないという問題を抱えてきた4人が4人ともすっかり馴染んでます。勉強は落ちこ

ぼれ状態に近いけど、すっかり好きになっているですよ、飯島の町ってすごい、なんかふわっと受け止める力が、環境なのか地域人柄なのか、いろんな総合力なんでしょう。それから、景色が良い、最近つくづく感じてまして、皆様のご努力のおかげかなと感じているところです。そこで、提案なんですけど、それと学校給食も大好きでジャカルタは給食がなくて、ぶつぶつ言っていたんですが、給食が美味しくてたまらなくて、毎日給食の献立をメニューを見てるんですね、そういう微笑ましい状況を見て、なんか思ったんですが、提案なんですけど、せっかく努力して給食センターの改修、改築になりますかね、工事発注の時期か、または着工の時期ぐらいに、飯島町のパンフレット毎月出てますよね広報、広報誌の席上で町長さんと教育長さん対談か何か飯島町の魅力、人の魅力、それから教育、ちょっと不満もあるんですけどもね、ちょっと学力の面ではすごく心配というかありますし、今言った郷土愛形成の教育とか文化財活用の問題とか与田切公園の自然教育の問題とか課題とか、あたりの夢を語っていただいて、なおかつ6億円以上の新しい給食センターが再スタートするあたりを夢を、実績を含めて語っていただくという座談会みたいな、お二人の夢展望を示してもらおうと、孫たちが定住を考えてくれるということで。私の所、僻地で4.7キロも送り迎えが大変なので、駅と学校の近くに、居を構えて定住しようかなと方向で検討しとるみたいなので、後押しをしていただけると個人的に嬉しいかなと。

議長

学校給食が移住定住の一つの要素になるとは思わなんだなあ。

桃澤委員

町の教育の展望なんかも示していただいて、すごく魅力ある町に。漠然とした話しかできませんで。

議長

ありがとうございました。まあいろいろ大きな意味でご示唆をいただきました。ありがとうございました。全体を通していかがですか。言い忘れたことございますか。はいどうぞ。

鈴木委員

これは、この事業一覧はそのまま通るわけではないですよ。通していただけますか？

堀越企画政策課長

では企画政策課ですけれども、これは3か年計画の中の構想ってゆうか、まあ要望ってゆうかでございます。予算でまだ通ってないけれども、重点的な事業については十分考慮しながら、場合によっては先送りがあるかもしれませんけれども、十分今お気持ちをお聞き取りしましたので、今後の予算編成の中で考慮していきたいと思っております。

議長

よろしいですか。

鈴木委員

前向きに。

桃澤委員

教育関係については、あんまり削る優秀さを発揮しないように。

堀越企画政策課長

教育関係で申しますと、たとえばギガスクールも市町村によっては中学、小

学校、小学校の低い学年には配らないとか、そうゆうところもあるんです。だけど飯島町は中学、小学校全学年のひとり一人に配布していきたいとゆう考えで本年予算を対応させていただいたりします。

桃澤委員
議長

その調子でよろしくをお願いします。

(1)の教育関係予算についてですけども、ずっと聞き取っていただきました教育長の方から最後なにかご意見ありましたらどうぞ。

澤井教育長

はい、ありがとうございます。教育委員会では町長部局にですね、予算に関して、いろいろ要望を伝えるってことが法的な事項でもあって、今日この場にかえさせていただきました。細かいところは私たち事務局の方でいろんな折衝ができるんですけども。町民、住民の立場で委員さんからいろいろな観点で出させていただいて大変ありがとうございました。具体的にすぐに対応できるものもありますし、先程ありましたけど予算関係でこれからじっくり取り組まなければならないこともありますけれども、企画財政の課長さんから心強いお言葉もいただいておりますので、また、町長さん、副町長さんも聞いていただきましたので、まあ全てといたしませんけれども、99%くらいなんとかなるかなあと。まあそれはともかくとして、こちらとしては、その一生懸命必要性、重要性を見極めていきながら、予算編成の中で活かしていければなと思っています。これからはまたいろいろのご支援いただきますがよろしくをお願いします。

(2) 成人式について

議長
片桐教育次長

次に移りますね。(2)成人式について、事務局から説明をお願いします。

お願いいたします。(2)になります。成人式については資料4の2で説明してまいります。ここでは今年の成人式についてと、今後の成人式についての二つを協議していただきたいと思います。経過について係長より説明いたします。

蟹沢生涯学習担当幹
議長
蟹沢生涯学習担当幹

はい。

はいどうぞ。

検討いただきたい件ですけども、本年度の成人式についてと、2022年、令和4年度の成人式についての検討をお願いします。まず、本年度の成人式についてですが、当初本年度8月15日に成人式を行う予定でございました。第一回目の実行委員会を5月22日に開催いたしました。その時はまだ都道府県で緊急事態宣言が解除になっておらず、実行委員の方から不安があるので開催を1月に延ばせないかという意見が多数出ました。その後、町にお諮りをして1月3日に延ばすとゆうことで計画を進めておりまして、10月2日に第二回目の実行委員会を行いました。この時は国の政策が感染の予防をしつつ経済活動の

活性化に舵をきっていく方向でしたので、1月3日の成人式を、感染リスクを避けながら、内容を縮小して行おうとゆうことで決まりました。11月に三回目の実行委員会を行いまして、この時点での感染者はなし、今後の感染状況が悪化した場合には、式典だけはなんとかやって、同級会等の飲食を伴うものはちょっと我慢しようとうことで話し合ったところです。そして11月入ってから伊那保健所管内で感染者が多数出まして、11月28日ですかね、町内の方も一人感染したとゆうことを受けまして、実行委員の方から1月の成人式を延ばしたいとゆうような話が出てまいりました。急きょ実行委員でつくっているラインの方で皆の意見をお聞きしましたところ、10人中9人から回答がありまして、5月に延期をしたらどうかとゆうようなものが8名、あと8月へ延期と中止を含めてどのようにしてもいいよという方が1名おりました。12月に入ってから1日、2日と感染ゼロだったのですが、昨日になってまたお二人（感染者が）出てしまってるとう状況になっています。上伊那管内の成人式の状況がその下にまとめてありますが、辰野については、もう8月に延期が決まっています。箕輪については昨夜会議を持ったそうで、その席で今年度成人式は中止とゆうことだそうです。で、実行委員、成人者による実行委員が主体となった交流イベントを感染が収まってからやろうっていうような話のようです。南箕輪村については令和2年度についてはもう済んでいる、3年度については通常は1月に行っているものを、お盆に延ばすとゆうことでございます。伊那市の八地区については令和2年度のを1月10日に開催するとうことで決まっているようです。長谷、高遠につきましては1年早くやっておりますので、今年度についても予定通り、こちらに書いてあるのは令和3年度のものでどうか、飯島に比べると1年後の学年になりますけれども、この子たちは予定通り開催するとうようです。宮田村については出席者の数を取りまとめたところ、3分の一程度しか出席しないとゆうような状況が見えているので、まだ検討中だとうことです。駒ヶ根についてはもう今年度は成人式は中止とゆうことで、コロナが終息して集まれる状況になってから代わりの交流イベントを計画していくとうことであるようです。中川についても令和2年度については実施済み。3年度については1月3日に実施の予定とゆうところが今の状況です。どのような方向にもって行くのがいいのか検討をお願いします。

議長

はい。という状況で、飯島の当該者の方々は中止したいとゆう意向でございますけれども。

蟹沢生涯学習担当幹

延期です。

議長

あ、延期か。8月に延期ね。

蟹沢生涯学習担当幹

5月に。

議長

あ、5月か。すいません。これは何。これはその人たちが決めること？教育

委員会のこの会議と関係あるの？

片桐教育次長

成人式自体は町の行事でして、教育委員会がその事務的なところを委任されているとゆう、そういう位置づけです。ですので、中止するとか延期するとかそういう大きいところをここで決めていただけたらと。

議長

ここで決めないといけないの？

片桐教育次長

町の主催の行事になりますので。

議長

とゆうことらしいので、ご意見を頂きましょうかね。

上山職務代理

今のところですね、コロナが収まってないような状況ですので、当初1月3日の予定ですかね、それがアンケート取った段階で5月くらいにしたほうが良いとゆうことですね、まあそういうことであれば、そこらで終息できればとは思いますが、様子を見た方がいいような気がしますけれども。

議長

はい、他にご意見を。

松崎委員

帰ってくる受け入れのお家が、PCRなどして何も無いなら受け入れるのがいいのかなと。どっかの町ではPCR検査をして帰ってくる、成人者の皆さんにPCR検査なんていうのを新聞などででていますので、家族が不安だと思うんですよね。近隣で(コロナに)なったとしたら、消毒とか来たら、あの家になったみたい。帰って来てから戻るにも、卒論とかの時期に、試験の時期になりますので、帰って行くのは大変なのかなってゆう、受け入れ側もそうだし、帰るのも大変だと思うので延期の方がいいんじゃないのかなと思うんですが、5月の延期、どうして5月の延期なのかってゆうことですか、5月もまた忙しいと思うので、なんで5月にしたのかってゆうのが。

蟹沢生涯学習担当幹

ゴールデンウィークで帰省がしやすいとゆうことです。

松崎委員

まだ、いろいろ5月にはまた忙しいんじゃないのかなって思うので、もう少し延期をした方がいいんじゃないのかなって思います。

議長

延期して、5月もう一度考えた方がよいとゆうことです。鈴木さんどうぞ。

鈴木委員

私も延期の希望者が八名いらっしゃるのでも延期した方がいいんじゃないかなって気がします。5月は、ゴールデンウィークは忙しいかもしれないので、今までは8月にやっていたんですよねえ、前半と後半に分けることはダメですかね。学年が一緒になるのが嫌だってゆうのが多数だったのは(気持ちは)分かるので、来年になって飲食がどうなるか、そこが解除になるかは見えなくて、前半はこの学年、後半はこの学年で割り振れば問題ない気がしますけど。5月にやってまた・・・。

議長

当事者の皆さんは来年の8月は新しい成人、繰り越された人たちが8月になると一緒になるから5月とゆう、こうゆうご意見なのかな？

蟹沢生涯学習担当幹

そういうこともある。一緒は抵抗がある。

議長

一緒はね。そうりゃそうだ。桃澤さんいかがですか？

桃澤委員

あのお鈴木さんの意見とほぼ同じで、町がやる成人式ってなんだってことを考えたんですけども、ぼくら当時の感覚としては町で行事やってくれて、酒飲んで。よくよく考えたら法律で決められたことでもないですし、町がそれをやるとゆう、二十歳になるとゆうだけの行事ですから、皆の意向でやれば5月開催、ちょっと遅れたけど5月にお祝い、それから新しい子たちは8月にやるとゆういいのではと思いますけど。

議長

これで結論、どれが正しいかわかりませんが、いずれにしても当事者の皆様方のご希望をまず重視すると、役場は8月に同じ日に前半、後半やってくれば楽でいいんですけども、5月にやっても、8月にやっても対応できますよとゆうことでいいですか。それじゃ最終当事者の皆さんに最終決定をしてもらいますね。はい。その方向性をお願いします。それでは2番目の問題が片付きましたので・・・。

蟹沢生涯学習担当幹

令和4年の方の成人式についてをお願いします。

2ページ目ですけども2022年に民法の一部を改正する法律の適用にともない4月1日から成人年齢が二十歳から18歳に引き下げられます、その時の成人式について、どのようにしたらよいかとゆう検討を、お願いをいたしたいと思えます。まず成人式に対する国の考え方ですけども、成人式の時期やあり方に関しては法律による決まりはないので、各自治体が実情に応じた対応で取り組んでいくものだとゆうことになっております。

3ページ目ですけども、その年の成人対象者ですが高校三年生から、飯島みたいに一年遅れて成人式を迎えるところもありますので、大学3年生までの年の人たちが成人式の対象者になります。まず、一番早い段階での成人式を考えると、一番下の学年の人たちが高校三年生での成人式とゆうことになります。その時の課題ですけども、高校三年生ですと、ちょうど大学の受験ですとか、また進路が決まってない人が複数いるとゆうこと、それで、大変な時期とゆうこと。あと会場の問題とゆうことで最大4学年一緒とゆうことになりますので、大ホールに入れたいことはありませんが、もしこの後に同窓会等を計画すると町内の業者では出来ないんじゃないかとゆうこと（賄いきれない）。あと、親の経済的な負担が進学、就職の時期と重なると大変であると。あと、飲酒の方が認められてないとゆう子が大多数いること。で、高校三年生の早生まれの子どもたちは、まだ成人年齢に達してない子がいますので、ここら辺が課題かなと思えます。あと、利点としましては間もなく新生活が始まる時期ですと、成人としての心構えとゆうものを考えるには、いい機会になるのかなと思えます。

4ページ目ですけども、そのあと18歳から19歳に成人式を行う場合も、先ほどの高校三年生の課題があった中で、成人に達してない部分が消えるくら

いで、あとはほぼほぼ課題は減らないとゆうこと。その下 19 歳、20 歳の成人式ですけども、上の三つの項目については、だいたいひと段落しているかなとゆうところですが、まだ一部飲酒ができない状況の子たちがいるとゆうこと、利点としましては生活が落ち着いてきていて、参加しやすいのではないと思います。

もう一枚めくって頂いて 5 ページですけども、現状の 20 歳 21 歳の成人式の課題については全て消えているとゆうことになります。あと、今年高校一年生から大学とゆうか、1 年生までですね、アンケートを実施いたしました、その時の調査の対象者ですが 312 人で、うち回答してくれたのが 140 人、回答率が 44.9% でしたが、開催時期はいつがいいかと伺ったところ、一番は現行の 21 歳と 20 歳の学年の 8 月の 15 日が一番いいとゆうところ、その次が 21 歳と 20 歳の学年の 1 月でした。その次が今の成人式をやっている一つ下、1 年早くなりますけれども、20 歳と 19 歳の学年の 8 月 15 日が第三位とゆうことになりました。

6 ページの方をご覧ください。成人式を大勢でまとまってやるかどうかですけども、それについては大多数が自分の学年だけでやりたいとゆう回答が返って参りました。その下、他の自治体の動向ですけども、これは 11 月末の状況で、このあとまた変更等があるかもしれないとゆうことなんですけれども、伊那市、駒ヶ根市については検討中、辰野については現行の 20 歳 21 歳、箕輪についても現行通り、ここもやはりアンケートを実施してこのままがいいとゆうことで決まっています。南箕輪については元々 19 歳 20 歳になっておりますので現行通り、中川について、その通りなんですけれども、成人式ってゆう書き方でなくて、二十歳になったお祝いとゆうような意味合いの式をしていくとゆうことです。宮田についても現行通りとゆうことになっています。

7 ページ目ですけども町の考え方をまとめたものですけども、実施については今まで通りの 20 歳 21 歳の 8 月 15 日でどうかってゆうようなところ、あと成人式の名称を今まで通り使ってもいいし、「二十歳を祝う会」ってゆう形で変えるってゆう方向でもいいのかなあって思っておりますが、皆様の意見も伺いたいとゆうふうに思っております。

議長

今説明がありました。法律上は 18 歳以上が成人と呼ぶと、法律が改善されるとゆうこととございます。それによって成人式をどのようにしたらよいかとゆうことと今説明がありました。各地区、自治体の対応がありますけれども飯島町としては今まで通りの感覚で、年代でやりたいと、こうゆう考え方をもっておるとゆうこととございます。いかがでしょうか。はい、どうぞ。

上山職務代理

今までの考え方ですね基づいてやった方がよさそうな感じでおります。飯島の場合は、焼酎を祝う会とかありますので、ちょうど酒が飲めた方がいいんじ

やないかと思えます。あとやっぱり夏にやるのも、まあ着物もとかもですね、着たい人もいるでしょうけれども、ラフなある程度ね、金銭的なものもありますので夏にやるとゆうことでよろしいんじゃないかと思えます。

議長

只今ご意見いただきました。他にいかがですか？賛成の方も一人。語ってください。賛成の方。

鈴木委員

資料見た感じ今まで通りでいい気がしますので、今まで通りの方向で、すればいいのかなって思えます。名称について、いろいろ案は書いてありますけれども、「成人式」って言葉は特別なような気がするので、そのまま使ってもいいような気がします。

議長

参考のご意見を頂きました。あと他の方よろしいですか？それで？はい、そうゆうことで町の考え方で進めていただきたいとゆうことでございます。よろしくどうぞお願いします。

(3) その他

議長

その他(3) ございましたらどうぞ。事務局側はどうですか？

片桐教育次長

ございません。

議長

ありがとうございました。ちょうど11時になりますので、この総合教育会議を閉じさせていただきます。大変ありがとうございました。

一同

ありがとうございました。

午前10時58分

以上の議事録は、教育委員会事務局教育次長 片桐雅之 の記載したものであるが、その内容の相違ないことを証するため、ここに署名する。

飯島町長

下平 淳一

飯島町教育長

澤井 淳

同職務代理

上山 隆三

飯島町教育委員

鈴木 富美

飯島町教育委員

松崎 充恵

飯島町教育委員

桃澤 宗夫